

(問題先頭の丸文字は問題を解ける学年を示し各学年で学ぶ項目は全てその学年に含ます。)

③ : (問題が **G** : 良い、**A** : 基本、**D** : 代表的、**S** : 新規性、**H** : 高水準、**F** : 標準的)

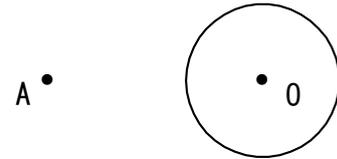
★ (40点必須)、★★ (60点必須) ★★★ (75点必須)

246gg020304hibiyasakuzusjhi 2001年 難易度3

1) ★★右の図の点Aと円Oをもとにして、接線AP, と接線AQを定規とコンパスを使って作図せよ。ただし、P, Qは接点である。

また、作図に用いた線は消さないでおくこと。

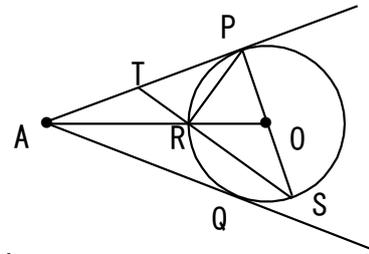
図1



2) 図2は、図1において、次のように作図した場合を表している。

- 点Aと円の中心Oを結び、円Oとの交点をRとする。
- 点Pと点Rを結ぶ。
- 点Pと点Oの中心Oを結ぶ線分を中心Oの方に延長し、円Oとの交点をSとする。
- 点Sと点Rを結ぶ線分を点Rの方に延長し、接線APとの交点をTとする。

図2



次の問に答えよ。

(1) ★★ $\triangle ARP \sim \triangle ATR$ であることを証明せよ。

(2) ★★★円Oの半径が1 cm、 $AO = 3$ cmであるとき、 $\triangle ATR$ の面積は何 cm^2 か。答に根号が含まれるときは根号をつけたままで表せ。

また、答だけでなく、答を求める過程が分るように、途中の計算も書け。

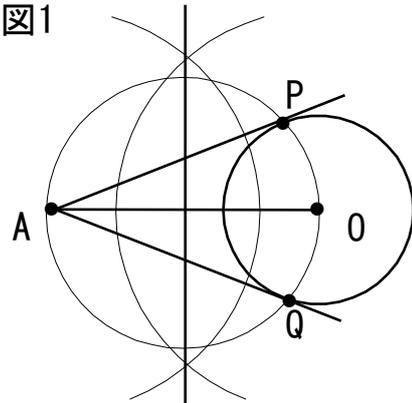
問題の解き方と復習のポイント

キーワード=接線=円中心と接点を結=90°

長さ=相似比、合同、三平方の定理

- 1) 接線APはOPと直角に交わる。
 接線AQはOQと直角に交わる。
 P, QはOAを直径とする円周上にある。
 OAの中点をかき円を描く。

図1



2)

- (1) $\triangle APR$ と $\triangle ATR$ において、
 右の図2で

●はすべて等しい

$\angle PSR = \angle RPA$ (接弦定理)

$\angle PSR = \angle OSR$ (同一) = $\angle ORS$ (円の半径) = $\angle TRA$ (対頂角)

ゆえに $\angle RPA = \angle TRA \dots \textcircled{1}$

$\angle PAR = \angle RAT$ (共通) $\dots \textcircled{2}$

$\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$ より2組の角がそれぞれ等しいので
 $\triangle APR \sim \triangle ATR$ である。

- (2) 仮定より $AO = 3$ 、 $OP = 1$
 三平方の定理より、

$$AP = \sqrt{3^2 - 1} = \sqrt{8} = 2\sqrt{2}$$

$$\triangle APO \text{の面積} = AP \times PO \times \frac{1}{2} = 2\sqrt{2} \times 1 \times \frac{1}{2} = \sqrt{2}$$

$AR = 2$ 、 $RO = 1$ より、

$$\triangle PRA = \sqrt{2} \times \frac{2}{3} = \frac{2\sqrt{2}}{3}$$

(1)の相似から $AR : AP = AT : AR$

$$2 : 2\sqrt{2} = AT : 2$$

$$AT = \frac{4}{2\sqrt{2}} = \frac{4\sqrt{2}}{4} = \sqrt{2}$$

$AT : TP = 1 : 1$ から

$$\triangle ATR = \frac{1}{2} \triangle PRA = \frac{\sqrt{2}}{3} (\text{cm}^2)$$

図2

